

第2回そだつ部会会議録

日 時	2013年6月19日(水) 11:40~12:30
場 所	地域連携交流施設
出 席 者	古場美紀、水野洋子、松井恵子、濱口直哉、安川尚希、前田忠男、藤田悦孝、政本和子、中野操 吉水富美
テ - マ	1. 取り組みについて 2. その他 3. 次回開催日の調整
	<p>1、取り組みについて</p> <p>本日の「かけはし書き方教室」について</p> <p>各グループ(小学6年生以下、高校生、成人)からでた意見及び感想</p> <p>グループ(就学前~小学6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が、初回で書く時間が取れた <p>グループ(高校生): 初回参加者2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスを聞いて、参考になった ・「どんなふうに取り組んでいるのか」も書きとめておけばよいと、アドバイスをもらえた <p>グループ(成人): 書いていながら疲れた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「初回なので、どこから書けばいいのか」という意見があった <p style="padding-left: 40px;">必要のある所から書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルの様式で、「連絡先」を書く所は、本人の情報と同じではないか、という質問が出た <p style="padding-left: 40px;">連絡先は、自宅とは別に緊急に連絡してほしい所 記入する時々に変更があれば、修正する</p> <p>全体をとおして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く時間がもう少しあればいいのではないか ・一緒に助言しながら書く方が、良いのではないか ・今日は、話を聞くことと二本立てであったが、書くことに特化した教室も必要 ・支援者が常駐しており、書きたい人が集まる場を提供してはどうか <p style="padding-left: 40px;">支援者が常駐することは難しいと思う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く機会を増やすのは、良いと思う ・各団体の定例会で、書く機会を設け支援者が出前講座をするのも良いのではないか ・「お泊り会」に関して今回は参加者が増えたので、関心がある時に、育成会の定例会に出向くのも、良いのではないか ・場所が設定されていても、保護者が集まるだけでは書き進めるのは難しい ・会に所属しない人向けには、広報を利用するなど「第2回書き方教室」に参加してもらう方が良いのではないか <p>10月開催予定の「相談会」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月 校区移動・就学指導等の時期を考慮して9月にしてはどうか(提案) ・校区移動は、旧北小学校の閉校に伴う措置で、平成26年度までの期間限定での措置なので、時期はあまり関係がない

・「相談会」は、どういうもので、誰向けの開催か？

支援者各々が、伝えられる事を提案してもらう事が、前回の部会での宿題であったそれらについて、参加保護者がより聞きたい内容の所で、相談をするイメージ個別の話は難しいので、一般的な話になるであろう

ミニ講座のようにイメージする

個別の相談になってしまうかもしれない

就学となると、一人ひとり違うので、一緒には出来ないと思う

・今日のアンケートから、保護者の聞きたい事をひろって次回の部会で再度検討する

2. その他

平成 25 年度の協議会 紹介チラシについて

全体研修会 「計画相談の手順」

～新たな障がい者（児）の計画相談が始まりました～

平成 25 年 7 月 5 日（金）10：30～12：00

播磨町役場 3 階 BC 会議室

東はりま特別支援学校の説明会、オープンスクールが終了した

- ・説明会には、来年度の入学を考えている方だけでなく、数年かけて検討する保護者が来られていた
- ・昨年秋に加古川市こども療育センターに、東はりま特別支援学校・いなみの特別支援学校・加古川養護学校が学校紹介に行ったが、実際の学校をみる目的で訪れた保護者もあったと思う
- ・加古川市こども療育センターの医師からも、紹介があったと思う
- ・播磨町教育委員会からも発信しており、中学 2 年生の保護者が参加している
- ・相談支援事業所からも、勧めている
- ・進路の選択肢の広がりを、感じる

4. 次回開催日の調整

今回は、平成 25 年 7 月 10 日（水）10：00～12：00

地域連携交流施設